

オープンアクセスウィーク OPEN ACCESS WEEK 2022

10/24 MON ▶ 30 SUN

オープンアクセスウィークとは

オープンアクセスの意義を広める取り組みです。
アメリカのSPARCが主催し、毎年10月に世界各地で行われています。


今年のテーマ

“Open For Climate Justice” 気候正義のためのオープンデータ


「知識の共有は人類の権利であり、気候変動危機に取り組むには、地理的、経済的、学問的な境界を越えて知識を迅速に交換することが必要」

今年は気候変動問題に焦点を当て、関連する知識の共有と協力の促進をめざします。

▶ 気候変動に関する情報


国立極地研究所データベース 
<https://www.nipr.ac.jp/database/>

北極域データアーカイブ (ADS: Arctic Data archive System) 
<https://ads.nipr.ac.jp/>


世界の過去の気象データ (リサーチナビ国立国会図書館) 
https://rnavi.ndl.go.jp/jp/guides/post_648.html

▶ 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第6次評価報告書 (AR6) に関する情報

環境省 
<https://www.env.go.jp/earth/ipcc/6th/index.html>

気象庁 (国土交通省) 
<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ipcc/ar6/index.html>

IPCC Sixth Assessment Report Working Group 1: The Physical Science Basis 
<https://www.ipcc.ch/report/ar6/wg1/>

IPCC Sixth Assessment Report Impacts, Adaptation and Vulnerability 
<https://www.ipcc.ch/report/ar6/wg2/>

IPCC Sixth Assessment Report Mitigation of Climate Change 
<https://www.ipcc.ch/report/ar6/wg3>

オープンアクセスとは

学術論文など、研究成果を誰でも読めるようにインターネット上で無償公開し、知識を共有することです。
オープンアクセスにすることで、「全世界の人に読んでもらえる」「引用してもらえる可能性が高くなる」などのメリットがあります。

オープンアクセスにする方法

研究成果をオープンアクセスとする方法として、以下の二つの方法があります。

- 大学や学術団体の運営する機関リポジトリでの公開（セルフアーカイブ）
- 論文投稿料等を支払うことで、出版と同時に無料公開（オープンアクセスジャーナル）

大阪公立大学学術情報リポジトリ <https://omu.repo.nii.ac.jp>



大阪公立大学オープンアクセス方針

2022年4月、大阪市立大学と大阪府立大学が統合し、大阪公立大学が誕生しました。それに伴い、それぞれに策定していたオープンアクセス方針をもとに、新たに「大阪公立大学オープンアクセス方針」を策定し、研究成果のオープンアクセスを推進しています。

大阪公立大学オープンアクセス方針 <http://hdl.handle.net/10466/00017825>



連絡先
大阪公立大学 中百舌鳥図書館
TEL：072-247-6036
E-Mail：gr-gakj-nk-repo@omu.ac.jp

